

# 製品開発に活かす触感の定量化、使用感の測定と評価 【大阪開催】

～スキンケア製品、ヘアケア製品、繊維製品の事例をもとに～

**日時** 2015年10月8日(木) 12:30～16:30

**主催** (株)R&D支援センター

**会場** ドーンセンター 4F 大会議室3 大阪市中央区大手前1-3-49

定員:30名

**受講料** 49,980円 ※資料付

※満席になり次第、

(税込)

※案内会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

募集を終了させていただきます。

・1名でお申込みされた場合1名につき47,250円

・2名同時申込で両名とも会員登録をしていただいた場合、計49,980円(2人目無料)です。

※大学生、教員のご参加は、1名につき受講料10,800円です。

(ただし、企業在籍者は除きます。また、2人目無料も適用外です。)

**講師** 秋山 庸子 氏 / 大阪大学 大学院工学研究科 環境・エネルギー工学専攻 講師 博士(工学)

## 趣旨

製品開発において触感重要な因子であるが、定量化や測定が難しい感覚でもある。触感を表す言葉は、さまざまな形容詞やオノマトペで表されるが、それぞれの感覚がどのような物理現象を反映したものなのか、さらにはその物理現象がどのような材料・皮膚間の微視的な相互作用によって引き起こされるのかを明らかにすることで、製品の触感デザインの可能性が見いだされている。

ここではいくつかのスキンケア製品、ヘアケア製品、繊維製品等の具体的な触感の例を取り上げながら、さまざまな感覚的な言葉で表される触感が、どのような物理現象に起因するものなのか、さらにはどのような材料の微構造によるものなのかを明らかにし、製品の触感デザインに反映させていくための方法について解説する。

## プログラム

### 1. 触感の物理現象を探る

1.1 皮膚感覚のメカニズム

1.3 物理モデル構築のために必要な情報

1.2 触感の物理モデルという考え方

1.4 物理モデルの基礎となる理論

### 2. 物理モデル構築のための官能評価データの解析

2.1 物理現象を意識した触感の官能評価

2.3 多変量解析の落とし穴とその解決法

2.2 官能評価の多変量解析とその解釈

2.4 機器測定と官能評価との関係づけ

### 3. 触感の物理モデルの具体例

3.1 繊維製品の触感の物理モデル

3.3 スキンケア製品の触感の物理モデル

3.2 ヘアケア製品の触感の物理モデル

### 4. 触感の物理モデルに基づく材料設計

4.1 物理量と材料の微構造の関係づけ

4.3 触感設計の妥当性の評価

4.2 材料の触感デザイン

4.4 今までにない使用感・触感の創出に向けて

## 【質疑応答・名刺交換】

## 『製品開発に活かす触感の定量化、使用感の測定と評価【大阪開催】』セミナー申込書

|   |    |        |  |
|---|----|--------|--|
| 会社・大学   |    |        |  |
| 住所  | 〒  |        |  |
| 電話番号  |    | FAX    |  |
| お名前   | 所属 | E-Mail |  |
| ①   |    |        |  |
| ②   |    |        |  |
| 案内会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。                          |    |        |  |
| <input type="checkbox"/> Eメール <input type="checkbox"/> 郵送 |    |        |  |

※左記ご記入の上、**FAX 03-3261-0238**までお申込みください。

#### ■お申込み方法

左記必要事項をご記入の上、FAXでお申込みください。お申込み後の連絡、受講証の発送、請求業務などは(株)R&D支援センターが行います。折り返し、R&D支援センターから受講証(当日ご持参下さい)、請求書、会場地図をご本人様宛てにお送り致します。お申込み後、5日以内にお手元に届かない場合は必ずR&D支援センター(TEL:03-3599-5811)へご一報下さい。

#### ■お支払

請求書を発行いたしますので、開催日までに銀行振込でお願いいたします。

#### ■個人情報の取り扱い

ご記入の個人情報は、当社および主催者が、事務連絡、ご案内等に使用いたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方をご出席ください。